ダリマナ

～ 南の風 ～

校長室日記

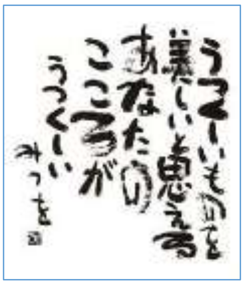
令和元年６月25日（火）　第５２号

「人生の幸福の５つの条件」　（スイス心理学者：カール・ユング）

スイスの心理学者で、カール・ユング（深層心理について研究し、分析心理学の理論を創始した精神科医・心理学者）という人がいます。この人が、「人生の幸福の５つの条件」について定義しています。それが、次の５つです。

１．健康であること
２．ほどよい程度のお金があること
３．美しいことを感じる能力があること
４．人と仲良くしていく能力があること
５．朝起きた時、やらねばならぬ仕事があること

読めば読むほどに平凡な言葉ですが、とても大切なことだと思います。
最初の「健康」は、言うまでもありません。心身ともに健康が何よりです。
2番目の「ほどよい程度のお金」という言い方はとてもおもしろいと思います。この「ほどよい」とはどの程度か、それは個人によって違うでしょう。あり余る財産は、「宝の持ち腐れ」になりがちです。それは、宝物を活用することなく終わることです。
3番目の「美しいことを感じる能力」も、確かに人生の幸福の条件です。以前、この「ダリマナ」の中でも、この言葉と同じ意味合いの「美しいものを美しいと思える あなたの心が美しい」（相田みつを）という詩を紹介させてもらったことを覚えていますか。ものを見たり、聞いたりして、美しさを感じるのは一つの能力なのでしょうが、この美しさには優しさとか、豊かさも含まれていると思います。どんな風景を見ても、どんな音楽を聴いても美しいと感じない人は、やはり不幸です。
次に4番目の「人と仲良くする」ですが、これも大切な幸福の条件です。我を張って人と仲良くすることを避ける人がいますが、本当は一人ぼっちが寂しいのではないでしょうか。無理して突っ張って人に嫌われるようなことをして目立とうとする人も、本心は穏やかではないのではないかと思います。



最後は「朝起きた時、やらなければいけない仕事がある」ことです。これは、やはりすばらしいことなのですね。私たちは、勉強や仕事に追われて苦しい、辛いと愚痴りがちですが、やることのあるありがたさをじっくり味わう必要があります。特に、私のように定年間近な人間には、この気持ちが本当によくわかります。

❤ Happy Birthday　６／25‥野村 咲羽さん